

鈴木 隆泰 SUZUKI Takayasu

研究分野：インド哲学仏教学／宗教学

キーワード：如来蔵・仏性、『法華経』、大乘経典、仏教の持つ現代へのメッセージ



研究トピックス：

仏性（ぶっしょう）思想の展開

研究の要旨：

仏教は「仏（ブツ）の説いた教え」であると同時に、「仏に成るための教え」であるといわれます。では、なぜ人は覚（さと）りを得て仏に成れるのでしょうか。その理由を理論的に説明した思想が「仏性（ぶっしょう）思想」です。この仏性思想においては、わたしたちは例外なく「仏としての本性（本質）」をそなえていると説かれます。ですが、「みなさんは仏さまとしての本性を持っているのですよ、みなさんの本性は実は仏さまなのですよ」と言われても、現実にはわたしたちは迷いのただ中において、覚りとはほど遠い生活をしています。本当にわたしたちの本性は仏なののでしょうか。では、なぜ迷っているのでしょうか。さらに、逆に考えると、もしわたしたちの本性が仏なのだとしたら、仏に成るために修行する必要もないことにはならないのでしょうか。この二つの問題を鮮やかに解決したお経が、拙著『如来出現と衆生利益』が扱った『大法鼓経（だいほくきょう）』というお経です。仏性思想はこの『大法鼓経』において、一つの極致を迎えたのです。

<http://suzuki.ypu.jp/>



主な関連業績：

鈴木隆泰 [2013] 『葬式仏教正当論』（東京：興山舎）

鈴木隆泰 [2014, 2016, 2018] 『本当の仏教』第1～3巻（東京：興山舎）

鈴木隆泰 [2020] 『如来出現と衆生利益』（東京：春秋社）

SUZUKI Takayasu [2018] The Thesis and Antithesis of the *Saddharmapuṇḍarīka*, *Journal of Indian and Buddhist Studies* 145 (66-3), pp. 97-104.

[教員紹介へのリンク](#)

[教員データベースへのリンク](#)